

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

(基本施策) (1)子どもたちの豊かな学びと成長

(評価担当者)

教育部長

草川 吉次

■基本施策が目指す姿

子どもたちが、将来の自立につながる生きる力を身に付けています。

■関連する分野別計画

亀山市学校教育ビジョン

■成果指標

		単位	現状値		実績値					目標値
					H29	H30	H31	H32	H33	
1	コミュニティ・スクール実施校数	校	3	H28	3					8
2	普通教室等への空調機設置率(小)	%	36.2	H28	44.3					100
3	普通教室等への空調機設置率(中)	%	50.0	H28	50.9					100
4	普通教室等への空調機設置率(幼)	%	25.0	H28	25.0					100
5	学校評価アンケートにおける授業理解度(小)	%	88	H27	88.7					92
6	学校評価アンケートにおける授業理解度(中)	%	83	H27	80.3					85
7	学校評価アンケートにおける学校満足度(小)	%	91	H27	91.5					92
8	学校評価アンケートにおける学校満足度(中)	%	91	H27	88.3					92

■市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1	小中学校の施設や設備が整っている	重要度	1.44		/
		満足度	0.40		
2	学校教育の内容や取組が充実している	重要度	1.50		
		満足度	0.05		
3	青少年を見守り応援する活動が行われている	重要度	1.44		
		満足度	0.39		
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んでいる	<p>学びの環境の充実においては、川崎小学校改築事業や普通教室空調機整備事業(中学校)をはじめとし、計画的に学校施設の環境整備を進めることができた。</p> <p>また、「子どもたちの育ちのための学びの展開」では、ALT配置事業や情報教育推進事業等を、また「すべての子どもの学びを支える教育の推進」においては、個の学び支援事業や少人数教育推進事業により、着実にそれぞれの事業の推進を図ることができた。</p> <p>これらのことから、総じて順調に進んでいる。</p>
反省点・課題	
<p>成果指標に掲げる中学校の「学校評価アンケートにおける授業理解度」及び「学校評価アンケートにおける学校満足度」はそれぞれ減少しており、また全国学力・学習状況調査の結果などの目に見えた数値には、今のところ繋がっていない。今後さらに、習熟の度合いに応じた少人数指導の充実や授業改善の継続が必要である。</p> <p>また、見守り活動や体験機会の提供など地域全体で子どもの育みを支える「地域における子どもの居場所づくり」として、「『亀山っ子』市民宣言」の具現化行動の実践も進められているが、さまざまな実施団体の取り組み意識については差異がみられている。</p>	

今後の展開方針

市全体または各学校における学力定着状況を分析し、亀山市学力向上推進計画や各校における学力向上の取り組みの確実な実践を促し、各学校における授業改善の進捗状況を把握する。また、亀山市の特色でもある少人数による児童生徒へのきめ細やかな指導の継続や、国または県の学力向上に係る事業の積極的活用を通して、児童生徒一人ひとりの確かな学力の向上を図る。

さらに、地域全体で子どもの育みを支える風土醸成のために、「『亀山っ子』市民宣言」の具現化行動について実施主体を明確にしてより推進していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 地域とともにある学校づくり								
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A 順調に進んでいる	各校で地域と連携した行事や交流を進めた。学校運営協議会等を通じて地域との連携・協働による教育力の向上を図った。CS(コミュニティ・スクール)対象校の拡大を図るため、準備校を設定し、視察や講師招聘による研修を進めた。地域の諸団体と連携した防犯研修会、体験型防災学習や訓練を実施した。各校で総括評価を実施、次年度への取組課題等を明らかにした。			各校において、地域資源を生かした特色ある教育活動や地域と連携・協働した学校運営が継続されている。CS(コミュニティ・スクール)についてはこれまでの3校に加え、平成29年度新たに3校がCS導入に向けての準備を進めた。平成30年度はCS対象校が6校となり、さらに平成31年度に向けて3校が準備に入る見込みである。				
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	19148	特色ある学校づくり事業(小学校費)		標	3,027	2,851	A	A
	19149	特色ある学校づくり事業(中学校費)		標	616	579	A	A
	19182	コミュニティスクール推進事業		標	812	482	A	A
事業以外の取組	内容						活動	成果
	学校関係者評価を生かした各学校の総括評価の実施						A	A
	家庭や地域等と連携した防災訓練や各校の危機管理マニュアルの見直し						A	A

施策の方向② 学びの環境の充実								
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A 順調に進んでいる	学校施設における子どもたちの学びの環境を整備するため、川崎小学校改築事業、普通教室等空調機整備事業を進めるとともに、各施設の状況に応じた整備を実施した。また、普通教室等空調機整備事業については、国庫補助事業に採択されたことにより、工事着手を前倒した。			川崎小学校改築事業は、工期延長を行ったものの、事業全体としては、大きな影響はない。また、普通教室等空調機整備事業は、工事の前倒しにより早期に学習環境の整備を図ることができることとなった。そのほか、各事業の実施により着実に環境整備が図ることができた。				
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17068	川崎小学校改築事業		主	844,616	324,899	B	B
	17071	普通教室等空調機整備事業(中学校)		主	68,322	2,322	A	A
	17072	中学校給食実施事業		主	43,850	40,308	A	A
	19008	施設整備費(小学校費)		標	38,000	38,000	A	A
	19027	施設整備費(中学校費)		標	10,000	9,990	A	A
	19043	施設整備費(幼稚園費)		標	2,831	2,784	A	B
	19273	地場農畜産物利用推進事業		標	303	275	A	A
事業以外の取組	内容						活動	成果
	三重県建設労働組合亀山支部の支援による学校施設整備						A	A
	通学路交通安全プログラムによる通学路点検						A	A

施策の方向③ 子どもたちの育ちのための学びの展開								
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
B まずまず進んでいる	ALTを5名配置し、小学校英語先行実施に向けた教材を開発した。児童用タブレットを470台導入、授業での活用を図った。図書館活用アドバイザーを派遣し、図書館を活用した授業づくりを推進した。学力定着状況を分析し、授業改善や問題テーマ活用を通じて学力定着を図った。各種研修会を実施した。Q-U分析を仲間づくりに生かした。部活動充実に向けガイドラインを策定した。			授業理解度は小学校88.7%、中学校80.3%、学級満足度は小学校91.5%。中学校88.3%であり、小学校は微増、中学校は微減という状況である。学力向上推進計画の改訂を受け、書く力を軸とした学力向上の取り組みが各校に浸透しつつある。児童生徒の年間図書貸出冊数は81.1冊へと増加し、読書習慣の定着が進んだ。いじめ認知件数や不登校児童生徒数は減少傾向にある。				
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17073	外国語指導助手配置事業		主	23,728	23,238	B	B
	17074	情報教育推進事業(小学校)		主	34,398	32,626	A	A
	17075	情報教育推進事業(中学校)		主	18,195	17,110	A	A
	17076	学校図書館支援事業		主	11,496	11,188	A	A
	17077	学力向上推進事業		主	6,728	6,728	A	B
	19015	体育・文化活動支援事業(小学校費)		標	1,905	1,529	A	A
	19030	体育・文化活動支援事業(中学校費)		標	656	508	A	A
	19033	中学校体験活動支援事業		標	1,044	892	A	A
	19105	幼児教育推進事業		標	1,976	1,774	A	A
	19106	教職員研修事業		標	1,454	1,110	A	A
19271	道徳・人権教育推進事業		標	825	734	A	A	
事業以外の取組	内容						活動	成果
	英語活動・英語科及び国語科におけるカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究						A	B
	亀山市部活動ガイドラインの策定						A	B

施策の方向④ 家庭・地域の教育力の向上						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	基本的な生活習慣の確立を軸とした講座開催や啓発リーフレット類の作成配布を行うとともに、「『亀山っ子』市民宣言」の具現化行動計画の実践を通じて、地域で子どもを育む意識醸成を図った。	評価	基本的な生活習慣や自己肯定感確立の重要性についての意識啓発は進められたが、「『亀山っ子』市民宣言」の具現化行動計画の実践と地域教育力向上との一体性についての意識共有についてはまだ不十分である。		
まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19132	子育て学習展開事業	標	1,215 / 1,032	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果
	人材バンクを活用した親子ふれあい行事などの開催支援				B	C

施策の方向⑤ すべての子どもの学びを支える教育の推進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	小中学校に介助員33人、学習生活相談員10人、生活支援員2人配置し、特別な支援を要する児童生徒への支援体制を整えた。少人数教育推進教員を10人配置し、過密学級解消や少人数指導の充実を図った。家庭での学習環境が厳しい生徒を対象に学習教室を139回開催した。SCやSSW、外国人児童生徒支援員等、支援体制の継続を行った。	評価	個に応じたきめ細やかな支援により、児童生徒の心の安定を図りながら、落ち着いた学校生活を実現している。様々な事例に対して、必要に応じて学校と関係機関が連携し、互いに情報を共有しながら、児童生徒や保護者への支援や指導助言を行っている。		
順調に進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17078	個の学び支援事業(幼稚園)	主	10,100 / 9,689	A	B
	17079	個の学び支援事業(小学校)	主	49,640 / 48,633	A	A
	17080	個の学び支援事業(中学校)	主	16,700 / 15,943	A	A
	17081	少人数教育推進事業	主	29,830 / 29,441	A	A
	17082	生活困窮者自立支援事業(学習支援事業)	主	2,987 / 2,987	B	B
	19259	特別支援教育推進事業	標	382 / 334	A	A
	19116	生徒指導充実事業	標	7,777 / 7,369	A	A
	19111	適応指導教室事業	標	3,106 / 3,043	A	A
	19286	外国人児童生徒教育支援事業	標	3,080 / 2,883	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向⑥ 青少年の健全育成と青少年活動の促進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	「愛の運動」やサマーキャンプの開催など「『亀山っ子』市民宣言」の具現化行動計画の実践を通じて、地域で子どもを育む意識醸成を図る取り組みを進めた。また、青少年総合支援センターと地域の青少年健全育成関係団体との連携関係の構築を図った。	評価	「地域の子どもは地域で育む」という意識醸成が進み、わずかながら「『亀山っ子』市民宣言」の具現化行動計画の実践が増加した。ただ、青少年自立支援に関しては学校支援や訪問型家庭教育支援も視野に入れた今後の展開を構築していく必要がある。		
順調に進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19099	青少年健全育成費	標	4,821 / 4,759	A	A
	19100	青少年総合支援センター費	標	13,749 / 13,045	A	A
	19101	成人式開催費	標	596 / 490	A	A
	19289	青少年自立支援事業	標	4,084 / 3,971	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果